

會津風雅堂開館 30 周年記念事業

荒城の月

市民音楽祭
— Final —
最終公演

歌い継がれる、凛とした会津の時の流れ



写真: 竹田混声合唱団・虹の旋律 (H26年開催 第15回荒城の月市民音楽祭より)

特別ゲスト



佐藤 淳一
(テノール)



佐藤 明子
(メゾソプラ)



佐藤 瑛利子
(ピアノ伴奏・ソプラ)



アウラ
(クラシック・ア・カペラ)

2024年

5月12日 [日]

開場 13:30
開演 14:00

會津風雅堂



■総合司会：塩野加織

〔出演〕 ○市立鶴城小学校(合唱) ○市立第四中学校(合唱) ○吹奏楽アカデミー1's(吹奏楽)
○県立会津高等学校(合唱) ○会津民謡いろは会(民謡) ○会津合唱五団体
(会津アルテ女声合唱団、会津混声合唱団、会津女声合唱団「ラ・フローラ」、混声合唱団「コアラ」、コーラス秋桜)

※都合により、出演者は変更となる場合もあります。

主催：荒城の月市民音楽祭実行委員会(鶴ヶ城ボランティアガイド・公益社団法人会津青年会議所)／公益財団法人会津若松文化振興財団
共催：会津若松市／会津若松市教育委員会／一般財団法人会津若松観光ビューロー
後援：白虎隊記念館／会津文化団体連絡協議会／福島民報社／福島民友新聞社／福島テレビ／福島中央テレビ／福島放送／テレビユー福島／ラジオ福島／ふくしまFM／エフエム会津

「荒城の月」よ、永遠に!

平成12年（2000年）に第一回を開催以来、足掛け25年、「荒城の月市民音楽祭」は本公演をもって通算21回目を迎えました。

この間、音楽祭に出演者として参加された方々、また運営ボランティアとして参加された方々、そして、観客として楽しんでいただいた数多くの市民のみなさまのご協力に、心からの御礼を申し上げます。

市民と共にあり、市民に愛されて続けて来た音楽祭ではありますが、コロナ禍による中断、社会情勢の大きな変化などに伴い、誠に残念ではありますが今回をもって最終公演とさせていただくこととなりました。

土井晩翠作詞、瀧廉太郎作曲の「荒城の月」は日本を代表する抒情歌であり、今もなお、多くの人々に愛され続けています。

「荒城の月市民音楽祭」は幕を下ろしますが、この名曲は決して色褪せることなく歌い継がれて行くものと私たちは、信じます!

格調高い詩、心に沁み渡るようなメロディー…「荒城の月」の永遠なる事を願いつつ、関わっていただいたすべての方々に心からの感謝を捧げます。

そして、みなさまに幸多からんことを、心よりお祈り申し上げます。

永い間、本当にありがとうございました。

「荒城の月市民音楽祭」実行委員会一同



鶴ヶ城本丸（夏）



鶴ヶ城本丸の東南隅にある土井晩翠先生直筆の碑文



土井晩翠 像：三ノ丸

プログラム

◇総合司会：塩野 加織

1. 市立鶴城小学校 合唱部 指揮：加藤 大貴 ピアノ：松本 純果
① 荒城の月 ② はじめの一步
2. 市立第四中学校 合唱部 ピアノ：高橋 小百合
① 荒城の月 ② ハナミズキ ③ Chessboard
3. 県立会津高等学校 合唱団 指揮：大竹 隆 ピアノ：佐藤 花音／五十嵐 帆乃
① 荒城の月 ② Best Friend ③ 次元
4. 会津民謡いろは会
① なよ竹の唄（踊り付き） ② 荒城の月／会津磐梯山
5. 吹奏楽アカデミー I's（会津） 指揮：渡部 稔
① 日本愛唱歌集 ② ディズニーメドレー
6. 特別ゲスト 佐藤 淳一・明子・瑛利子 ピアノ：佐藤 瑛利子／佐藤 明子
① 荒城の月 ② この道 ③ あわて床屋 ④ いつの日か
7. 特別ゲスト アウラ（クラシック・ア・カペラ）
畠山 真央 菊地 薫音 奥脇 泉 星野 典子
① 君をのせて ② こきりこ節 ③ 竹田の子守唄 ④ 荒城の月
⑤ 会津磐梯山 ⑥ オールド・ラング・サイン ～螢の光～
⑦ トルコ行進曲 ⑧ 愛の名のもとに～アニー・ローリー～
8. 会津合唱五団体 指揮：高橋 祐二 ピアノ：江川 龍二
会津アルテ女声合唱団、会津混声合唱団、会津女声合唱団「ラ・フローラ」
混声合唱団「コアラ」、コーラス秋桜
① 荒城の月 ② 鶴ヶ城賛歌 ③ AIZU その名の情熱
9. 全体合唱「荒城の月」 指揮：高橋 祐二 ピアノ：江川 龍二
★会場の皆さまも、ぜひご一緒に歌いましょう♪

※都合により内容を一部変更する場合がございます。予めご了承ください。



佐藤 淳一 (テノール)

会津若松市出身。荒城の月市民音楽祭には第1回公演から数多く出演いただいております。東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程修了。1990~91年ミュンヘン留学。1992年より仙台オペラ協会のメンバーとなり、本公演ではテノールの主要キャストを歌って来ています。現在は演奏活動の他に様々な団体において合唱指揮・指導も行っています。

現在、尚絅学院大学教授。仙台オペラ協会芸術監督・演奏部会員代表。オルガンとカンタータの会代表。宮城県芸術協会会員。日本演奏連盟会員。宮城県芸術選奨新人賞・芸術選奨受賞。令和5年仙台市市政功労者受彰。



佐藤 明子 (メゾソプラノ)

大分市出身。東京藝術大学声楽科卒業。1990~91年ミュンヘン留学しアダルフ・クラウス氏に師事。現在までにバッハやモーツァルトの宗教曲、ベートーベンの第九ソリスト、歌曲のコンサート等を演奏し好評を得ています。

現在、常盤木学園高校非常勤講師。オルガンとカンタータの会、仙台シューマン協会、華日本の詩歌の会、各会員。



佐藤 瑛利子 (ピアノ伴奏・ソプラノ)

仙台市出身。宮城県仙台二華高等学校卒業。国立音楽大学声楽専修卒業。大学在学中は室内合唱団 Kammer Chor でコンサートミストレスを務め、レインボー 21 サントリーホールデビューコンサートでは Kammer Chor の指揮者として出演。ソロ演奏の他、合唱指導やアンサンブル活動を精力的に行う。声楽を中村浩子、佐竹由美の各氏に師事。フランス・ニースの講習会にてノラ・アンセレム氏に師事。またピアノを白石純子、植木由利子、奥村友美の各氏に師事。学生時代より伴奏活動にも積極的に取り組んでいる。現在、NHK 仙台少年少女合唱隊副指揮者兼ボイストレーナー。



アウラ (クラシック・ア・カペラ)

畠山 真央
菊地 薫音
奥脇 泉
星野 典子

「究極の楽器ともいべき声だけでクラシックの名曲が生まれ変わる!!」

クラシック・ア・カペラのアウラは2003年結成のグループです。オーディションで選ばれたメンバーは、いずれもソロで歌える力と個性を持ち、熟成されたアンサンブルは声の質感が調和し、時に繊細で清らかに、また力強く響き合います。これまで8枚のアルバムを発売しており、中でも世界初!ア・カペラによるヴィヴァルディ「四季」の全曲収録に挑戦し「新たなジャンルを切り開いた」と絶賛されました。

メンバーの奥脇泉さん(写真右端)は会津美里町出身です。

出演団体のご紹介

会津若松市立鶴城小学校 合唱部

月・水・金曜日の放課後に合唱部の活動を行っています。昨年度の北会津地区小中学校音楽祭では優秀賞に輝きました。「一致団結 限界突破 心はいつも フォルテッシモ」を合言葉に練習に励んでいます。限られた時間の中で今日の音楽祭に向けて練習してきました。心を込めて歌います。

会津若松市立第四中学校 合唱部

四中合唱部は「NHK 全国学校音楽コンクール」と「全日本合唱コンクール」の2つのコンクール出場を目標に、日々練習に励んでいます。その他にも、校内文化祭、合唱部保護者会主催コンサート、感謝祭、秋のつどいなど、合唱を通して地元の方々に四中合唱部の演奏を聞いていただく機会などにも積極的に取り組んでいます。

福島県立会津高等学校 合唱団

本合唱団は、新制高校発足と同時に設立され、長い歴史と伝統を受け継ぎ、今日に至っています。

本日は、今年度最初のステージになりますが、歌えることに感謝し、心を込めて演奏いたします。どうぞお聴きください。

会津民謡いろは会

民謡好きの10代～90代のメンバーが、お習いを通して楽しく活動しております。特に、民謡「会津磐梯山」は誰にも唄われておりますが、おはやしを務める人は近年少なくなっており、後継者の発掘と育成に奔走しているところです。

現在、少年おはやし隊を随時募集していますので、皆さんいかがですか？

吹奏楽アカデミー I's (会津)

「吹奏楽アカデミー」は、福島県吹奏楽連盟主催により令和5年度からスタートした吹奏楽塾です。支部ごとに開催しており、会津支部では「吹奏楽アカデミー I's (会津)」という名称で昨年9月に活動を開始しました。一期生は会津地域の小5～中2まで計47名で構成されています。学校の垣根を越え、新たな仲間、地域の指導者の方々、高校生の協力を得ながら、技術力の向上を目指して楽しく学んだり、大人数での合奏を経験しながら吹奏楽を楽しんでいます。

会津アルテ女声合唱団

会津アルテ女声合唱団は、昭和36年に「若松おかあさん合唱団」として創立以来、主婦である団員が、市や文化団体の事業に積極的に参加し、活動して参りました。平成9年に「会津アルテ女声合唱団」と改名しましたが、団の良き伝統を守り、更なる発展を目指して活動していきます。

会津混声合唱団

会津混声合唱団は、会津若松市を拠点に週に2回楽しみながら練習に励んでおります。7月6日（土）には第56回定期演奏会を会津若松市文化センターで開催予定です！

会津女声合唱団「ラ・フローラ」

会津女声合唱団「ラ・フローラ」は、毎年定期演奏会を開催しています。今年も11月に開催される第34回目となる定期演奏会に向けて猛(?)練習中です。歌って踊ってとステージでは一人ひとりが個性を発揮し大活躍します。

「ラ・フローラ」に入団され、一緒に歌いましょう。

混声合唱団「コアラ」

混声合唱団「コアラ」は創立31年の市内でも数少ない混声合唱団です。指揮者の穴戸先生のユーモアと卓越したご指導、そして団員の合唱への情熱で美しいコアラハーモニーをめざして練習をしています。来年6月の定期演奏会では、高田三郎作曲の「水のいのち」を演奏します。皆さん私達と一緒に合唱を楽しみませんか。

コーラス秋桜

毎週月・木の午前中に會津稽古堂で練習しています。6月におかあさんコーラス東北支部大会、10月19日（土）は5年ぶりに文化センターでの定期演奏会を開催します。高橋祐二先生の丁寧なご指導の下、大人の女性の魅力たっぷりの歌声を目指しています。

荒城の月（意訳）

- 【1番】 春には、もともとここにあったお城の中で、賑やかな花見の宴が開かれたに違いない。
弾む声、笑い、そして酒をくみかわす盃…。
そして、城の大きな松の枝と葉の間からは、月の光が差し込んでいたに違いない…。
そんな、昔の面影はどこへいったのだろうか。
- 【2番】 秋は秋で、戦いに備えて、陣営の中はピンと張りつめた雰囲気であろう。
その空には、渡る雁の姿も見えていて…。
鎧に身をかためた武士たちの、槍や刀をそっと照らしていた、
あの昔の光は、どこにいったのだろうか。
- 【3番】 今、月は昔と変わらぬ光を投げかけているが、荒れ果てた城跡には人の気配もない。
垣には、ただカズラが生い茂り、松の枝を鳴らしているのは、寂しい風の音だけだ。
- 【4番】 大自然の移りゆきは少しも変わらないのに、人の世は栄えたり、亡びたりを繰り返している。
その人間の儚さを告げようとでもいうのだろうか、荒れ果てた城に、今、月の光はこうこうと降り注いでいる。

音楽祭のフィナーレは出演者全員による荒城の月の合唱です。

会場の皆さまも、ぜひ一緒に歌いましょう♪

荒城の月

土井 晩翠 作詞

瀧 廉太郎 作曲

あ あ 荒城の夜半の月
う つ さんとてか今もなほ
栄 枯は移る世の姿
天 上影はかはらねど
松 に 歌ふはただ嵐
垣 に 残るは唯かづら
変 わらぬ光たがためぞ
今 荒城の夜半の月
昔 の ひかりいまいづこ
植 うるつるぎに照りそひし
鳴 きゆく雁の数みせて
秋 陣営の霜の色
む かし の 光今何處
千 代の松が枝わけいでし
め ぐる盃影さして
春 高樓の花の宴

「荒城の月碑」原文より

名曲「荒城の月」よ、永遠に！

長い間のご声援ありがとうございました